

令和7年度 道德教育 全体計画

学校 番号	67	下伊那農業 高等学校	全 課程	農業 科
----------	----	------------	------	------

学校教育目標
<学校教育目標（校訓）> 一、質実・剛健 一、誠実・堪能 一、積極・真摯 <中・長期的教育目標> 1 農業や関連産業の持続可能な発展及び地域社会・文化の担い手として貢献できる人材を育成する。 2 農業の持つ教育力を最大限に活用し、知・徳・体の調和のとれた人格を形成する。
重点目標
1 人権の尊重と命を守る危機管理を徹底し、みんなが安全に、安心して生活できる学校づくりの推進 ・人権の尊重は、自分の命も、他人の命も尊重し大切にすること。生徒と教員がともに人権意識を高め、いじめや体罰がなく、自分の人権が尊重されていることを実感し、安心して生活できる学校づくりを進める。 ・災害や日常起こりうる事故など、危機管理意識を高め、自らの命を守る力を育成する。 ・個人情報、一人一人の人権に関わるものであることを自覚し、取扱いは厳重に行うなどのモラルを育成する。 2 基本的な生活習慣を維持し、心身ともに健康な生活を支援 ・生徒が大人（教員・保護者）に相談しやすい相談体制の充実をはかる。 ・生徒の心情や生徒を取り巻く様々な課題に目を配り、課題予防的生徒指導の充実を進める。 3 様々な学びの提供と基礎学力の定着を図る ・ICTの活用やスマート農業など、新たな学び方や教材の活用を進め、生徒の「わかった」の感動を引き出すとともに、将来につながる基礎学力定着を目指す。 ・学習評価の明確化や、指導と評価の一体化などにより、生徒の学びの意識を高める。 4 地域連携活動を通じて社会性と郷土愛を育て、地域から信頼される学校づくり ・校友会・班・農業クラブ等の活動や学習活動での地域連携をととして社会性を高める。 ・地域を見つめ、課題とその解決を探ることで、探究的な学びを推進し、学びの成果を地域に広める取組をととして、生徒の自己有用感を高める。 5 進路実現とキャリア形成につながる指導の推進 ・自らの目標や将来像を持ち、それらを実現する手段として進路を考え、キャリアを形成していく態度を育てる。 ・体験から学ぶ機会や地域や外部の有識者からの話を通して、将来像の形成につながる機会を充実させる。

道德教育の重点目標
<根底に置く考え方>（心の支援課作成） 「人権尊重の視点に立った学校作り」 ○ 人権が尊重される環境づくり （安心して過ごせる学校・教室） ○ 人権が尊重される人間関係づくり （互いのよさや可能性を認め合える仲間） ○ 人権が尊重される学習活動づくり （一人一人が大切にされ、互いのよさや可能性を発揮できる授業）

【この考え方に基づいた本校としての生徒育成目標】 1 下農生としての自覚を持ち、校内外の諸活動を通して、自律的・主体的な行動力を身に付ける。 2 人権に関する知的理解と人権感覚の育成を基盤とし、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができる意志・意欲・態度を養う。 3 集団の一員として、自分の役割と責任を自覚し、健全な集団形成に寄与する態度を育成する。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	校内外での諸活動を通じ、基本的な生活習慣を身につけるとともに、自らの大切さに気づき、自らの悩みを適切に表現し、身近な大人に相談できる力を身につける。また社会人として必要なマナー・規範意識を養うとともに、人としてより良く生	自らの活動を振り返り、自己理解・自己管理能力を身につける。また、自らの適性や進路選択について主体的に考え、諸活動を通じ、キャリア意識を高める。 ※進路講話 ※進路ガイダンス ※アグリフォーラム	学級・学年活動を通じ、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身につける。 また、研修等通じ、社会性を養う。 ※学年行事 ※稲丘祭 ※人権学習 ※性・情報講話	班活動を通じて、他の人と対等で豊かな関係を築くことのできる社会的技能を養う。また、文化祭などの生徒会活動において適切な自己表現等を可能にするコミュニケーション技能を身につけ、人権の観点から自己自身の行為に責任を負う意志

各教科	
国語	言葉による表現活動を通して、他者との関わり合いの中で、互いの意見を尊重しながら伝え合う力を高める。また、文章読解を通して、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を養う。
地理歴史	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

	きるための資質・能力を高める。		※メディアリテラシー	や態度を養う。	公民	憲法や関係する国内法及び「世界人権宣言」その他の人権関連の主要な条約や法令等に関する知識理解を深め、人権感覚を養う。
					数学	数学的な活動を通し、ものごとを客観的論理的に判断する力をつけ、適切な考え方、行動の仕方を身につける。また、真理を追究する姿勢を養う。
					理科	自然と人間との関わりについて認識させ、科学的に探求する態度を養うことで、生命を尊重する姿勢を養う。
2年	主体的に行動する態度を養い、人間としてのあり方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身につける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ※進路探究（事業所説明会） ※職場見学 ※進路別科目選択	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ※薬物乱用防止講話 ※人権学習 ※メディアリテラシー	校内組織において中心的存在として主体的に行動し目標に実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身につける。 ※班活動の諸行事 ※稲丘祭 ※校友会の運営 ※ボランティア活動	保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にすることを養う。又、スポーツを通じて社会性を養う。
					芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、他者の多様な表現を尊重しながら、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。
					外国語	日本文化や外国の事情および異文化について理解を深めることで、多様な価値観を認め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
					家庭	生活の営みに係る見方、考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員であるという自覚を持ちながら、生活をより良くしようと工夫し、自らの生き方を考える態度を養う。
3年	社会の諸課題に対して主体的に解決していこうとする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を養う。	よりよい社会を構成する構成者としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ※進路探究 ※課題研究	社会の構成者としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ※高校卒業後のあり方について ※人権学習（社会生活の中の権利と責任） ※メディアリテラシー	本校の生徒としてだけでなく社会を構成する構成者として自覚し、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ※校友会の運営 ※稲丘祭の運営 ※ボランティア活動	情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を養う。
					農業	農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決できる態度を養う。また、栽培・飼育などの農業教育を通じて生命を尊重する心を育み、他者をいたわり他者と協働しながら、将来の地域社会のあり方を探究する姿勢を養う。
					総合的な探究の時間	課題研究に代替



家庭・地域との連携	・地域に開かれた学校を目指し、授業公開、PTA活動、学校評議員会、地域と協働したクラブ活動等を通し、地域社会との連携を深める。 ・学校からの通信、学校ホームページ（webサイト）、懇談会、面談等を通じ、学校や生徒の様子を伝え、家庭との連携を深める。また、それにより、生徒の健やかな成長を図る。
-----------	---